




フォトン有名スポット探訪

ふくいの土木施設フォトンテスト受賞作品（1～9回）から
県内**15**か所を選抜（説明・地図付き）

コメント協力：福井県カメラ商組合 理事長 田辺 光行 様

（公財）福井県建設技術公社

良い写真を撮る秘訣は何ですか？

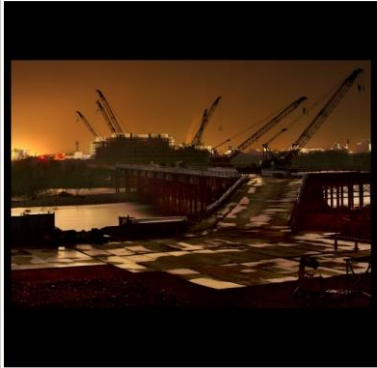
“センスではありません、チャンスです”

- 当コンテストの対象は単なる風景写真ではありません。**土木施設が中心になっていること**が重要な審査点になります。
- 橋というのは土木施設としてわかりやすい対象ですが、それだけ写っていてもだめで、**付近の情景も取り込む**ことが大事です。**人との対比を見せる**ことも大事です。その施設を利用している状況が写ると写真が生き生きとしてくる。理想を言えば、その施設が**社会の役に立っている**とわかるとさらにいいですね。
- ダムは迫力のある写真になります。放流時、放水時は特にいいですね。
- 夜景は車のライトの線がでると道路らしくていいですね。シャッターの空ける時間を調整して光の帯を作ることができます。また道路が環境に溶け込んでいる様子もいい。夜間はスポットライトが映えます。
- シャッターチャンスを狙っても良い。**動きをイメージ**できるように。季節感がしっかりわかるのもいいですね。除雪の写真もいいかもしれない。
- 新幹線は開業して走り出すとまたいい風景ができるかもしれない。
- 過去の受賞作に似たような対象・構図があると受賞しにくい。**嶺南エリアは作品数が少なくねらい目**です。
- **建設中の写真**はなかなか撮れないのでポイントが高くなります。つまり珍しい写真を撮るタイミングが重要です。
- 写真は往々にして偶然に撮れるものです。私は**いつもカメラを持ち歩いています**。コンパクトなものでいいのです。良い写真を撮るのは、**センスではありません、チャンス**なのです。

北陸新幹線整備事業

受賞回数 7 回
県内各所

フォトコン有名スポット探訪



第 3 回入賞
撮影者 大谷 繁一
タイトル「福井への架け橋」



第 5 回学生特別賞
撮影者 八木 葵
タイトル「希望への架け橋」



第 6 回入賞
撮影者 伊藤 浩昭
タイトル「真夏の青空と
新幹線高架」



第 6 回入賞
撮影者 安木 武夫
タイトル「待たれる開通」



第 7 回優秀賞
撮影者 室田 昇
タイトル「新幹線国 8 を跨ぐ」

事業の説明

- 最高速度 260km/h
- 整備期間 2012～2023 年度末
- 総工事費 約 1 兆 6,779 億円
(うち、県内事業費 約 1 兆 1,200 億円)
- 工事延長 114.6km
(うち、県内区間 74.4km)

県内の主な構造物

- トンネル
 - 柿原トンネル (2.5km)
 - 第 2 福井トンネル (3.5km)
 - 新北陸トンネル (19.8km)
- 橋りょう
 - 第 2 竹田川橋りょう (311m)
 - 九頭竜川橋りょう (414m)
 - 日野川橋りょう (310m)



(出典：福井県庁新幹線推進課HP)

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/shinkansen/gaiyou/gaiyou.html>



第 7 回入賞
撮影者 佐々木 修
タイトル「つち音響く」



第 9 回入賞
撮影者 深山 高雄
タイトル「収穫最盛期」

中部縦貫自動車道 受賞回数 7回 福井市・永平寺町・勝山市・大野市

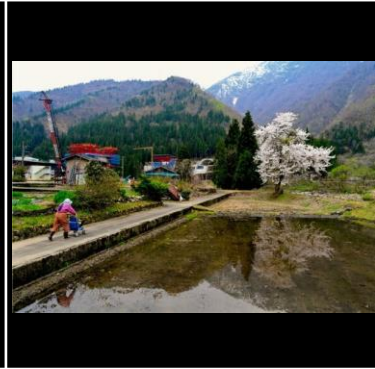
フォトコン有名スポット探訪



第2回優秀賞
撮影者 大谷 繁一
タイトル「福井の未来に
向かって」



第4回優秀賞
撮影者 佐々木 修
タイトル「乱舞を跨ぐ
高速道」



第6回優秀賞
撮影者 堀川 恭司
タイトル「原風景の変遷」



第6回入賞
撮影者 坂本 英継
タイトル「盆地を走る」



第8回最優秀賞
撮影者 大谷 繁一
タイトル「秋冷の霧」

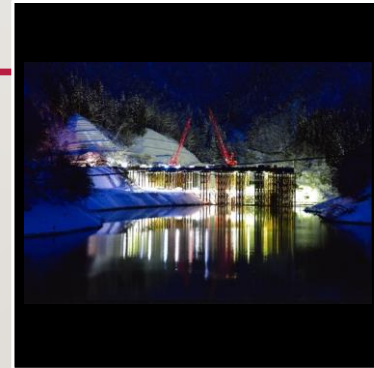
事業の説明 中部縦貫自動車道は、長野県松本市を起点とし、岐阜県高山市・福井県大野市を経て福井市に至る約160kmの高規格幹線道路（自動車専用道路）です。中央自動車道、東海北陸自動車道、北陸自動車道を連絡して広域交通の円滑化を図ることを目的としています。



(出典：福井県庁高規格道路課HP)

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/koukikaku/tyubu/tyubugaiyou.html>

Google Map



第8回入賞
撮影者 坂本 英継
タイトル「中部縦貫道着々」



第9回入賞
撮影者 大谷 繁一
タイトル「厳冬のハイウェイ」

受賞回数 6回

アイリスブリッジ

あわら市北潟



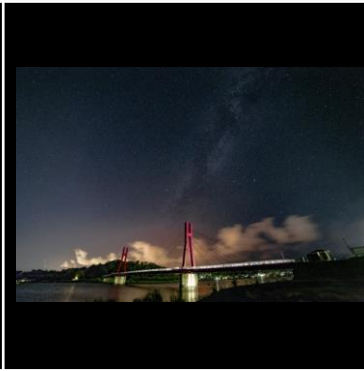
第1回最優秀賞
撮影者 安木 武夫
タイトル「朱のシンボル」



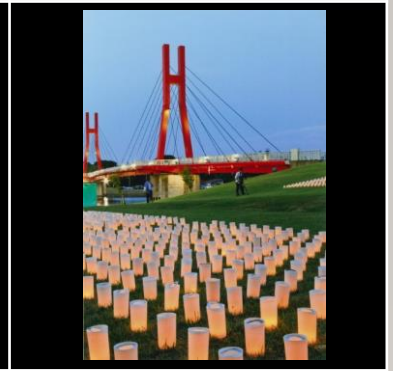
第2回優秀賞
撮影者 渡辺 修一
タイトル「湖畔、チームバイクでのりのりダー！」



第3回入賞
撮影者 深山 高雄
タイトル「暑さに負けず」



第4回入賞
撮影者 渡辺 勤也
タイトル「星空の向こう」



第5回優秀賞
撮影者 安木 武夫
タイトル「夏の夜の灯り」

施設の説明

全長175メートルの斜張橋で、北潟湖畔公園と花菖蒲園を連絡しており、サイクリングロードのシンボルとなっています。同じ斜張橋である「横浜ベイブリッジ」は全長860メートルであり、「アイリスブリッジ」はベイブリッジの5分の1のミニチュア版と考えていただくと比較的イメージしやすいです。斜張橋独特の形と色彩が、北潟湖周辺の自然景観にマッチしています。

ちなみにアイリスとは花菖蒲の意味で、あわら市の花に選定されています。

(出典：あわら市役所HP)

<http://www.city.awara.lg.jp/annai/7200/kankoshisetsu/p000949.html>

地図



Google Map



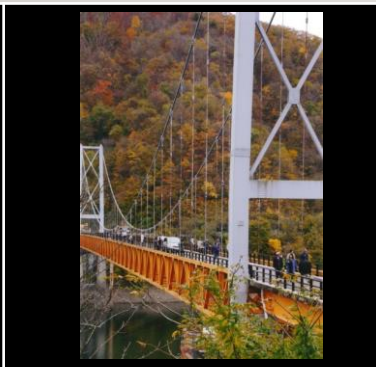
第9回入賞
撮影者 上野谷 絹代
タイトル「至福のひとつとき」

箱ヶ瀬橋

受賞回数 6回
大野市箱ヶ瀬



第3回入賞
撮影者 伊部 寛二
タイトル「紅葉の架け橋」



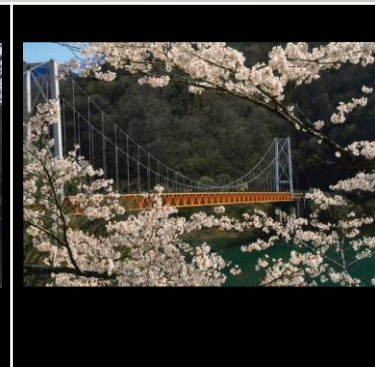
第5回入賞
撮影者 深山 高雄
タイトル「錦絵の吊り橋」



第6回入賞
撮影者 大谷 繁一
タイトル「豪雪のなごみ」



第6回学生特別賞
撮影者 八木 葵
タイトル「愛され橋」



第8回入賞
撮影者 佐々木 修
タイトル「山里の遅い春」

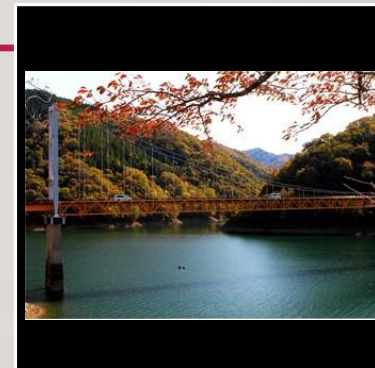
施設の説明

「夢のかけはし」と呼ばれています。九頭竜湖にかかると全長266mの橋で、正式な名前は箱ヶ瀬橋。本州と四国を結ぶ瀬戸大橋のプロトタイプ（試作品）として建設されたものです。

（出典：大野市役所HP）

<https://www.city.ono.fukui.jp/kanko/kanko-joho/guide/yumenokakehashi.html>

地図



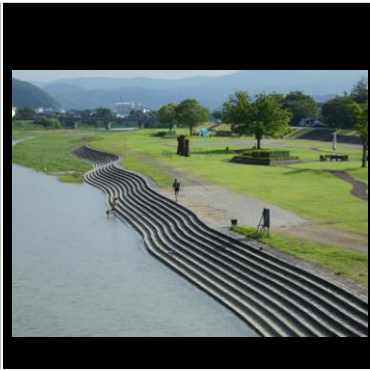
第9回入賞
撮影者 高橋 昌亨
タイトル「紅葉の箱ヶ瀬」

日野川河川緑地公園 万代橋

受賞回数 4 回
越前市錦町



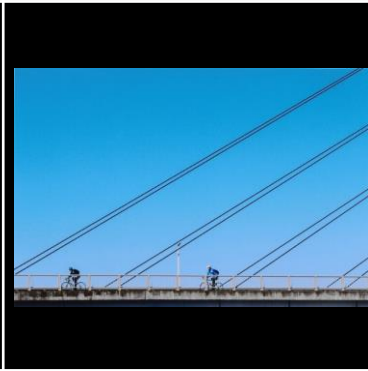
第 1 回入賞
撮影者 片岡 修一
タイトル「ぼくにも見せて～」



第 4 回優秀賞
撮影者 杉本 篤美
タイトル「水あそび」



第 8 回入賞
撮影者 熊谷 和子
タイトル「清流の鼓動」



第 8 回学生特別賞
撮影者 玉村 心優
タイトル「青空の下で」

場所の説明

隣接する芦山公園と日野川河川敷地の調和をはかることにより、水と緑に親しむ市民の憩いの場として計画した。右岸は昭和 6 2 年度より平成 4 年度にかけて整備し、引続き左岸は平成 5 年度より平成 7 年度にかけて整備を行った。主な施設としては中央広場、中央芝生広場、自由広場、休養広場、ゲートボール場、ローラースケート場、便所、園路などがある。

(出典：越前市役所HP)

<http://www.city.echizen.lg.jp/office/070/020/kouen/hinogawakasenyokutikouen.html>



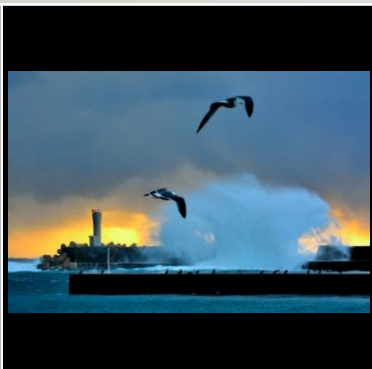
受賞回数 4 回

福井市・坂井市・越前町

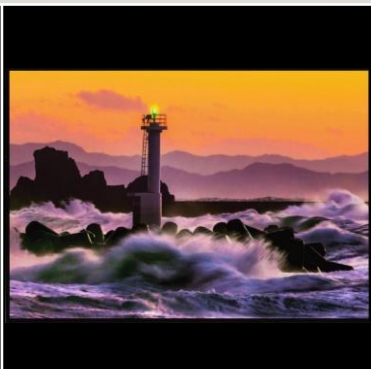
灯台



第 1 回入賞
 撮影者 堀川 あけみ
 タイトル「光芒の彼方」
 坂井市宿 三国港突堤



第 2 回優秀賞
 撮影者 堀川 恭司
 タイトル「波濤の灯台」
 越前町小樟



第 7 回最優秀賞
 撮影者 山岸 秀之
 タイトル「冬彩」
 越前町高佐



第 9 回入賞
 撮影者 佐々木 徹
 タイトル「越前荒波に虹が立つ」
 福井市白浜

場所の説明 (第1回作品)

三国港突堤は別名「エッセル堤」とも呼ばれ、九頭竜川河口に建設された幅9m、長さ511mの突堤です。明治初期、政府のお雇いオランダ人技師 G・A・エッセルが計画、ヨハネス・デ・レーケが監督した、日本で初めて西洋式工法による近代的河口改修によって建設されたのが三国港突堤です。現在でも導流堤兼防波堤としての機能を果たしており、1970年に建設された新堤と併せて全長が927mとなっていますが、当時の建設技術や風情を色濃く留めています。(出典：坂井市役所HP)

<https://www.city.fukui-sakai.lg.jp/bunka/kanko-bunka/kanko/rekishi/mikunitottei.html>

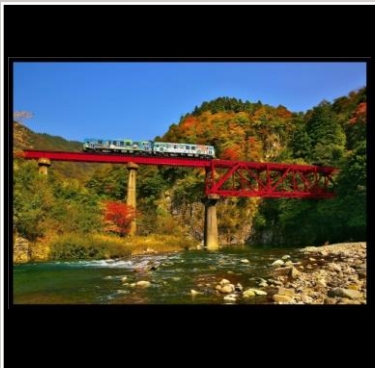
地図



Google Map

受賞回数 3回
大野市西勝原

JR越美北線第二九頭竜川橋梁



第2回最優秀賞
撮影者 金丸 隆
タイトル
「朱が映える九頭竜峡」



第6回入賞
撮影者 堀川 あけみ
タイトル「雪中の鉄橋」



第9回入賞
撮影者 松村 定幸
タイトル「冬一番」

場所の説明

1960年（昭和35年）12月15日、沿線住民や関係自治体待望の越美北線が、福井－大野－勝原間に開通しました。（出典：大野市役所HP）

<https://www.city.ono.fukui.jp/kurashi/douro-kotsu/tetsudou/etsumi-annai.html>

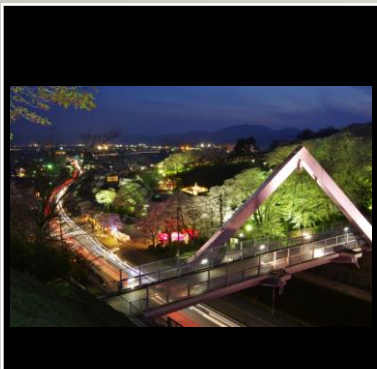
地図



Google Map

西山公園

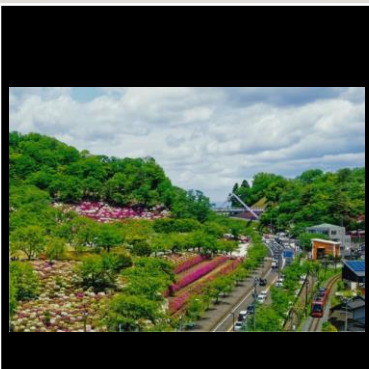
受賞回数 3回
鯖江市桜町



第2回入賞
撮影者 増田 松則
タイトル「西山の架け橋」



第6回入賞
撮影者 金子 敏己
タイトル「早春の西山橋」



第8回入賞
撮影者 金子 敏己
タイトル「つつじの咲く頃」

場所の説明

「日本の歴史公園100選」認定のさばえのシンボル公園です。春には、約5万株のつつじが咲き乱れる日本海側随一のつつじの名所。桜、つつじ、もみじ、雪吊り風景と四季を通じて多くの人で賑わいます。また、園内には、動物園、芝生広場、冒険の森、日本庭園などがあり、大人も子供も楽しめる楽しい憩いの公園です。

(出典：鯖江市役所HP)

<https://www.city.sabae.fukui.jp/kanko/playing/nishiyama.html>

地図



国道157号の橋

受賞回数 3回
勝山市北谷町



第3回入賞
撮影者 久保 幸子
タイトル
「山里をつなぐ橋」



第3回入賞
撮影者 川緑 功
タイトル
「冬のひがしやまばし」



第4回入賞
撮影者 堀川 あけみ
タイトル「雪解け」

場所の説明

石川県境に程近い勝山市北谷町は、滝波川がつくりだした段丘上に集落が点在する静かな山里集落です。北谷7集落の1つ、木根橋では、白壁や土壁の建物が建ち並び、生活の必需品である薪があちこちに積まれており、昔ながらの山里集落景観を見ることができます。

(出典：福井ふるさと百景HP)

http://info.pref.fukui.lg.jp/hyakkei/010_view/view_katsuyama.html

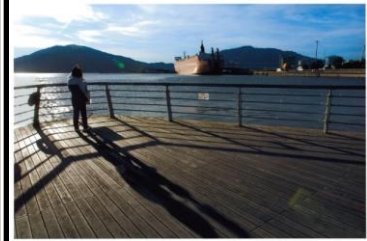
地図



敦賀港

受賞回数 3 回

敦賀市



第7回学生特別賞
撮影者 向當 和莉
タイトル「海と私」



第9回優秀賞
撮影者 藤村 留美
タイトル「静寂」



第9回入賞
撮影者 林 一正
タイトル「敦賀新港」

場所の説明

敦賀港は、日本海側有数の天然の良港で、古くから横浜、神戸、関門とともに対岸諸国と国内各地を結ぶ中継港として軍事、経済、文化交流の拠点として栄えてきました。対岸貿易の拠点港としての歴史も深く、赤レンガ倉庫をはじめとした歴史のみなと遺産を多く有しています。

現在では、北海道の苫小牧港との間に定期フェリー航路、**RORO**船航路を有しており、また、韓国（釜山）との間に定期コンテナ航路を有しているなど、環日本海時代に対応した流通港湾としての重要な役割を担っています。（出典：福井県港湾空港課HP）

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kouwan/tsuruga/tsuruga.html>

地図



風力発電所

受賞回数 2回

あわら市北潟 夢ぐるま公園付近



第7回入賞
撮影者 片岡 修一
タイトル「大空に立つ」



第8回優秀賞
撮影者 佐々木 徹
タイトル「見上げてビックリ！」

施設の説明

あわら市北潟地区では、福井県最大規模の風力発電所、あわら北潟風力発電所「あわら夢ぐるま」が稼働しています。周囲にはあわら市の特産物である甘藷畑（富津金時）が広がっており、農業との共生を図っています。このあわら夢ぐるまは、あわら市北潟地区の豊富な風力を利用した大規模風力発電所を建設し稼働させることにより、地球温暖化防止に貢献するとともに、わが国のエネルギー自給率の向上に寄与することを目的としています。

（出典：あわら市役所HP）

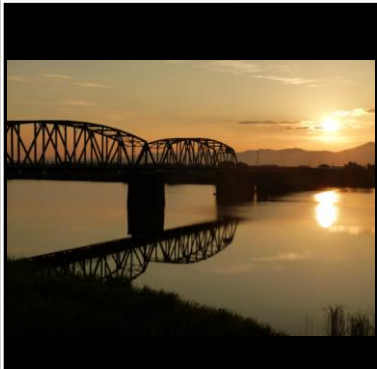
<http://www.city.awara.lg.jp/mokuteki/life/life03/life0301/p003515.html>



出展：あわら市役所HP

布施田橋

受賞回数 2回
 福井市布施田町～坂井市布施田新町



第1回入賞
 撮影者 上坂 貴範
 タイトル
 「朝陽をあびる布施田橋」
 (旧橋)

第4回最優秀賞
 撮影者 西本 眞一郎
 タイトル「待ち遠しい！」
 (新橋)

事業の説明

主要地方道丸岡川西線は、坂井市丸岡町の国道364号から北陸自動車道丸岡ICを経て地方港湾福井港（テクノポート福井）へアクセスする幹線道路であり、越前加賀国定公園等への観光道路としても重要な路線です。しかしながら、一級河川九頭竜川に架かる現布施田橋は昭和33年架設の老朽橋であり、幅員狭小で歩道もないため、架け替えが急務となっています。当該箇所の整備により、安全で円滑な道路交通が確保され、歩行者も安心して利用できる道路となります。

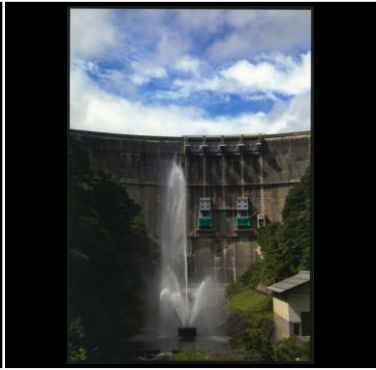
(出典：福井県三国土木事務所HP)

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/mikuni-doboku/13.html>



真名川ダム

受賞回数 2回
大野市下若子



第1回優秀賞

撮影者 児玉 弘登

タイトル「春纏う真名川ダム」

第5回入賞

撮影者 渡辺 修一

タイトル「真名川ダム」

施設の説明

洪水調節：真名川ダムは、容量にして8,900万m³（東京ドームにして約72個分）の水をダムに貯めて洪水調節を行うことができ、福井平野を水害から守る一役を担っています。

発電：北陸電力（株）真名川発電所において最大出力14,000kwの発電を行います。

不特定用水：真名川沿川の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図ります。

（出典：国交省近畿地方整備局HP）

<https://www-1.kkr.mlit.go.jp/river/dam/managawa.html>



JR北陸本線

ハツハラ 鳩原ループ線

受賞回数 2回
敦賀市道口～疋田



第1回優秀賞
撮影者 木戸 聡
タイトル「新緑の高架橋」



第4回学生特別賞
撮影者 笹原 且守
タイトル「Serene train」

場所の説明

明治時代初期に米原駅と敦賀駅を結ぶ路線として建設された時は、北陸本線は25パーミル勾配を含む経路で柳ヶ瀬トンネルを經由していた。（途中省略）上り線用のループ線の建設が進められ、1963年（昭和38年）9月30日に開通して新疋田 - 敦賀間が複線化された。

（出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』）

<https://ja.wikipedia.org/wiki/鳩原信号場>

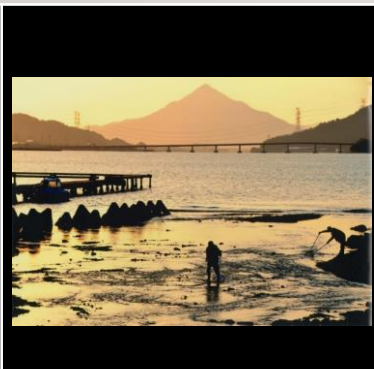


青戸の大橋

受賞回数 2回
 おおい町青戸



第1回入賞
 撮影者 室田 昇
 タイトル「青戸の大橋」



第5回入賞
 撮影者 堀川 恭司
 タイトル「若狭湾の春」

場所の説明

小浜湾南西部の青戸の入江から大島半島に渡る橋。青い海にかかる赤い橋が鮮やかです。若狭富士と呼ばれる青葉山の景観が楽しめる。
 (出典：若狭湾観光連盟HP)

<https://wakasabay.jp/list/photo?id=6073e7e67765618020830000>

地図

